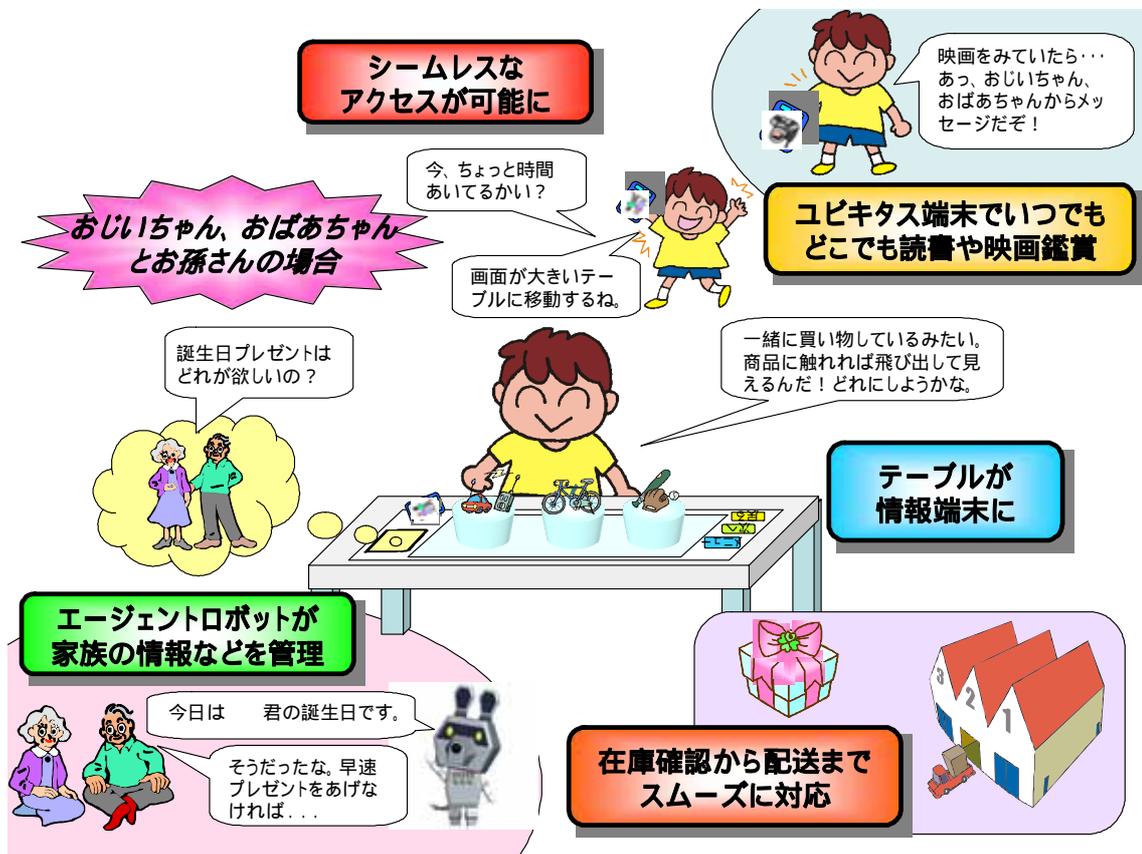


u - J a p a n  
生活シーンイメージ図

( その 1 )

## 【おじいちゃん・おばあちゃんとお孫さんの場合】



Aおじいちゃんとおばあちゃんは孫のCちゃんがかわいくてたまらない。そんなある日、朝起きると、エージェントロボットから「本日はCちゃんの誕生日」とのメッセージ。さっそく、Cちゃんにコンタクト。

Cちゃんはちょうど映画ソフトを見ていたところに、「誕生日のプレゼントは何がいい？」とのAおじいちゃんとおばあちゃんの声が飛び込んでくる。そこでCちゃんは画面の大きなテーブル端末に移動し、立体映像で映し出しながらプレゼントのおねだり。やはり、今クラスで流行っている最新型のロールプレイングゲームはないかなぁ。探してみよう。

メーカー側にリアルタイムで在庫を確認した上で、即注文。一時間後には配達されるということだ。これで今夜はお友達のDくんと対戦だ。

## 【ディレクターの場合】



ディレクターのEさんは、今日も一日、ダンサーのリハーサル風景を立体映像でチェック。各地に散らばっている一般の方々の意見を取り入れながら、本番に向けてテキパキと指示を送っている。

そんなときにあっても気になるのは、田舎で一人暮らしをしている病気がちな母のこと。そこで、母にはブレスレット型の健康診断機器を付けてもらい、体温・血圧・脈拍等の情報をリアルタイムで病院に転送できるようにしている。何か異常が生じたら病院からすぐに連絡がもらえるように手配しているので、ひとまず安心だ。

帰りの電車の中では、昨日録画しておいたテレビ番組を電子ペーパーでも見て、時間を有効に使うことにしよう。

## 【働く女性の場合】



農家に嫁いだFさんは毎日トマト栽培を手伝っている。センサーでグリーンハウス内の室温や土壌の状態をリアルタイムでチェックして、いつでも最適な環境になるように自動制御しているので、昔ほど大変ではない。

自信作のトマトを消費者に安心して食べてもらおうと、出荷・流通・陳列に至るまで無線タグで管理するとともに、お客さんにはいつでもトマトの履歴情報を入手できるように工夫もしている。また、スーパーマーケット側も電子決済システムを導入しているので、お客さんがレジに並ぶこともなくスムーズなショッピングを可能としている。

Fさんは仕事が終わる頃にはヘトヘトなので、自宅に着いたら家事が終わっているようにしていきたい。そこで、今のうちに帰宅モードにセット。これで到着時間に合わせてお風呂の準備、部屋の掃除、食事の用意までやってのけてくれるから、世の中便利になったわ。

## 【障害者の場合】



目の不自由なGさんは、一人暮らしをしているが、家に引き籠もってばかりいるのを嫌う活動家。いつも愛用の杖を片手に診療所や友達の家、コンサート会場などいろいろなところに出没。なぜなら、杖にはナビゲーション機能が搭載されているので、道順を誘導してくれるし、危険物が近づけば教えてくれる。また、周囲を走っている自動車にも注意を促す情報を配信してくれから安心だ。

ただ、それでも不安に思うのは親心。「一人で大丈夫だ」というGさんではあるが、万が一に備えて、両親はリアルタイムでGさんの居場所が確認できるような手配だけは怠っていない。

Gさんにしてみれば、むしろ心配なので留守中の防犯。そこで、不審な人物が留守中に近づくと、センサーが探知して警備会社に通報。さらに必要があれば、Gさん本人とご両親に連絡が送られてくるように契約済みだ。